

平成 31 年度

(令和元年度)

全国学力・学習状況調査の
結果分析と今後の取組

令和元年 10 月

大紀町教育委員会

目 次

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組について	1
七保小学校の結果分析と今後の取組について	2
大宮小学校の結果分析と今後の取組について	3
大紀小学校の結果分析と今後の取組について	4
錦小学校の結果分析と今後の取組について	5
大宮中学校の結果分析と今後の取組について	6
大紀中学校の結果分析と今後の取組について	7

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組について

令和 元 年 10 月

大紀町教育委員会

本年 4 月 18 日に小学校第 6 学年及び中学校第 3 学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果が、7 月に文部科学省から公表されました。

教育委員会では、町内の児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証してその改善を図っています。また、各学校においては、校内研修で結果を分析して、授業改革や学習状況の改善に努めているところです。町是「子供は町の宝」にあるように、学校・家庭・地域が一体となって、児童・生徒の希望と未来を支える学力を育むための取り組みがさらに進むように調査の結果を公表します。公表につきましては、本年度から、各学校の成果と課題を具体的に記載しました。各学校からは、家庭や地域の皆様にご協力のお願ひもありますのでよろしくお願いします。

（１）教科に関する調査結果から

①小学校について

国語・算数ともわずかながら県の平均正答率を下回りましたが、平均との差は、毎年縮まってきています。各学校における授業改善の成果が出てきていると考えております。引き続き「めあて・ふりかえり」を学習活動に位置付けた授業改善に取り組んでいきます。

②中学校について

国語・数学・英語の 3 教科が実施されました。3 教科とも県の平均正答率を上回っています。数学では、県からの加配による少人数学習対応や習熟度別編成が効果的であったと考えています。また、英語においては、町内 ALT 3 名体制の効果が徐々に表れてきました。来年度も継続して加配や学習支援員を充実していきたいと考えています。生徒の学力を向上させることは、自己肯定感やチャレンジする力を高め、進路希望を実現するための可能性や選択肢を広げるものであると考えます。

（２）質問紙調査の結果から

家庭学習については、それぞれの学校で共通理解を図り、宿題だけでなく自主学習の取組も進めています。自分で計画を立てて勉強をしている児童・生徒が増加してきましたが、家庭学習の時間が少ない児童・生徒については、今後対策を考える必要があります。読書指導においては、朝の読書やビブリオバトルなどを実施して、読書の習慣化に取り組んでいる成果は出てきていると思います。しかし、読書時間においては、まだまだ少ない児童・生徒が多く見られます。1 時間程度は、集中して読書させたいものです。また、新聞を全く読まない児童・生徒が多く見られます。読めない漢字は、辞書で調べたり、家族に聞いたりして読み取ることも自主的な学習の一つであると考えております。

七保小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

【強み】・文と文の意味のつながりを考えながら接続語を使って内容を分けて書くこと

- ・目的に応じて文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にして書くこと

【弱み】・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめること

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って自分の理解を確認するために質問をすること

②算数科について

【強み】・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ること

- ・資料の特徴や傾向を関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述すること

【弱み】・示された除法の式の意味を理解していること

- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算すること

(2) 質問紙調査の結果から

質問紙の回答状況から以下のような傾向が見られました。

【強み】肯定的な回答をした質問

- ・学校のきまりを守っていますか
- ・学級活動における学級での話し合いを生かして、今自分が、努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか

【弱み】消極的な回答をした質問

- ・家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか
- ・国語の勉強は好きですか

(3) 全体を通して

学級の中での授業での取り組みや生活の様子から、まだまだ伸びる可能性を感じます。一方で、これからの社会の中で必要とされる、多くの情報の中から自分の必要なものを取り入れたり、要約して人に伝えたり、文書にしたりする力はさらに高めていく必要があります。七保小では、当該の6年生のこのような状況から、低学年からつけるべき力を見定め、高学年になるまでに系統的に学習ができるシステムの構築を始めました。今後に向けてさらに、七保小の児童の強みを伸ばしていきたいと考えています。

(4) 家庭や地域へのお願い

児童質問紙の回答にあるように、家庭や地域におかれましては、子どもたちの話をたくさん聞いていただくことをお願いします。特に、子どもたちは聞き手が内容について興味や関心をもって聞いてもらっていると、さらに話す意欲が向上します。自己肯定感の高まりは、学習意欲につながります。学校では、「心やさしくたくましい」子どもたちに育つことを願って教育活動に取り組んでいます。これからの時代は、自分ひとりだけではなく、人と一緒に考えたり行動したりする力も多く求められます。ぜひともご家庭に置かれましても、ご協力をよろしくお願いいたします。

大宮小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

【強み】

- ・ 漢字やことわざ等、言語についての知識・理解・技能について、よい結果が得られました。

【弱み】

- ・ 調べたことを報告する文章にある図表やグラフなどを用いた目的を捉えることに課題が見られました。
- ・ 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉えることに課題が見られました。

②算数科について

【強み】

- ・ 図形の問題において、よい結果が得られました。

【弱み】

- ・ ある年のA市全体の水の使用量が別の年の市全体の水の使用量の何倍かを求める問題に課題が見られ、例年このような割合を問う問題に課題が見られます。
- ・ 減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるかを書くという問題に課題が見られました。

(2) 質問紙調査の結果から

【強み】

- ・ 例年同様、ほとんどの子どもが毎日、朝食を食べていることがわかりました。
- ・ ものごとを最後までやり遂げて、達成感を感じた経験を持っている子どもの割合が高かったです。

【弱み】

- ・ 自分には、よいところがあると思っている子どもの割合が低かったです。結果よりも結果に至る過程での子どもの頑張りを認めて、自尊感情を育てていきたいと考えています。

(3) 全体を通して

例年、自分の考えを書いたり、話したりして説明することに課題が見られます。今後も各教科等の学習活動をはじめとして、全教育活動を通して「書く」「話す」活動を大切にしていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

- ①今後も早寝、早起き、朝ごはん等の規則正しい生活習慣の維持をお願いします。
- ②ゲームやスマホ等の適切な使用時間を家族で話し合って決め、守らせてください。
- ③家庭での定期的な読書の時間をもってください。
- ④家族との会話の時間を確保し、子どもが自分の思いや考えを話す機会を積極的に作ってください。
- ⑤朝のあいさつをはじめとして、地域の子どもたちへの声かけをお願いします。

大紀小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

① 国語科について

【強み】

「話す・聞く能力」の正答率が高くなっています。話し手の意図をとらえながら聞き、話の話題に沿って自分の理解を確認するための質問をすることができています。目的に応じて質問を工夫することができています。

【弱み】

「言語についての知識・理解・技能」の正答率が低くなっています。漢字を文の中で正しく使うことやことわざの意味を正しく使うことが苦手です。自分の思いを書くことや文章を要約して書くことが苦手です。

② 算数科について

【強み】

問題形式が選択や短答のものは正答率が高くなっています。基本的な計算やグラフを読み取ることができています。

【弱み】

記述式の問題が苦手です。示された式や図形の面積の求め方の説明を言葉や数を用いて記述することが苦手です。複数の数量から必要な数量を選んで式を立てることが苦手です。

(2) 質問紙調査の結果から

- ① 朝食・起床・就寝・家庭学習の良い習慣が身に付いています。また、学習に対してあきらめず最後までまじめに取り組む姿勢が身に付いています。
- ② 自分を過小評価する傾向が見られ、自分に自信が持てず積極的になりにくいところがあります。また、学級の友達と話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることが少ないです。
- ③ 読書する時間が短い児童や読書が苦手な児童が目立ちます。

(3) 全体を通して

基礎基本の定着をしっかりと行い、家庭学習や読書の時間を確保するように取り組んでいきます。また、国語においては、漢字の定着やことわざの理解などを進めるためミニテストや定期テストを随時行っていきます。国語算数ともに記述式の問題に苦手意識があるので書く活動を大切にして授業を進めていきます。

(4) 家庭や地域へのお願い

今まで以上に家庭と学校が連携・協力し合って子どもを育てていくことが重要です。そのためにも家庭学習や読書時間の確保を家庭でも取り組んでいただきたいと思います。また、地域で子どもたちが安全に過ごせるように地域での子どもたちの見守りもお願いします。

錦小学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

①国語科について

【強み】

- ・話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をすることができます。
- ・ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることができます。

【弱み】

- ・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことに課題があります。
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う点に改善が必要です。

②算数科について

【強み】

- ・図形の性質や構成要素に着目し、他の図形を構成することができます。
- ・示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算ができます。
- ・示された除法の式の意味を理解しています。

【弱み】

- ・示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する力に課題があります。
- ・棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取る力を今後つけていく必要があります。

(2) 質問紙調査の結果から

- ①良い点としては、学校であったことについて家庭で話をしたり、学校で行ったりすることを楽しみにしている児童が多くいます。また、学校の学習に関しては、課題解決に向けて取り組んだりすることができます。
- ②改善が必要な点は、自分で計画を立てて勉強したり、積極的に本を読んだりすることにやや消極的なことです。

(3) 全体を通して

- ①国語科においては、特に漢字を文の中で正しく使えるよう取り組む必要があります。算数科においては、図形やグラフから内容を読み取り、説明したり、記述したりする力を付けることが今後の課題です。
- ②学校での学習をより実り多いものとするために、家庭での学習の在り方をさらに充実させていく必要があります。

(4) 家庭や地域へのお願い

今後とも今までと変わることなく、学校行事等に積極的に関わって頂き、学校教育をより実りあるものとするようご協力をお願いします。

大宮中学校の結果分析と今後の取り組みについて

(1) 教科に関する調査から

- ① 国語では、「書くこと」の平均正答率が県の平均をやや下回り、記述式で解答する力に弱さが見られます。毎日の日記をはじめ、各授業でも書くことを大切にしたい取組を行っていききたいと思います。
- ② 数学は、「図形」が県の平均正答率よりもわずかに低いものの「数と式」など他の領域はすべて県の平均正答率を上回っています。今後も少人数対応や習熟度編成を行い、一人ひとりを大切にしたい取組を進めていきたいと考えています。
- ③ 英語は、「聞くこと」が県の平均正答率を下回っています。今後は、ALTによるリスニング活動を丁寧に行うなど「聞く」力をつける取組を行っていきます。

(2) 質問紙調査の結果から

- ① 就寝時刻が一定している生徒の割合が昨年よりも多く、規則正しい生活が送られていると考えられます。しかし、残念なことに、今までほぼ100%であった朝食については、約8割の生徒しか朝食を食べてこないという結果になりました。
- ② 家庭学習の時間について、学習時間が1時間以上の割合が全国平均よりやや低くなっています。
- ③ 「自分によいところがありますか」という問いについて、そう思う・どちらかと言えばそう思うという生徒は、半数でした。

(3) 全体を通して

朝食をとらない生徒や、家庭学習の時間をもう少し多くするほうが良い生徒はいますが、生徒全体としては、自主学習を根気強く続け、落ち着いた環境の中で授業に集中することができています。それが、今回の調査では、国語・数学・英語の3教科とも平均正答率が全国平均を上回ることにつながったのだと考えます。

これからも大宮中学校では、授業改善や仲間づくりの取組を進め、さらなる学力向上に努めたいと思います。

(4) 家庭や地域へのお願い

- ① 朝食抜きの生徒が増加傾向にあります。朝食を抜くことは、特に成長期のお子さんには悪い影響が多いようです。ぜひ、朝食をとり集中力を高めて登校する習慣を大切にしてほしいと思います。
- ② 自己肯定感を高めるためにも、何かをやり遂げる機会を設定し、その取組結果だけではなく、過程を評価する取組を継続していきたいと考えておりますので、ご家庭や地域でも、ご協力をお願いします。
- ③ 学校においても、自主学習の指導を行っていますが、ご家庭でも見守りをお願いしたいと思います。自分で学習する習慣を身に付けられるように、決まった時刻に決まった時間、机に向かうことができることを認める声掛けをお願いします。

大紀中学校の結果分析と今後の取組について

(1) 教科に関する調査結果から

① 国語科について

文章に表れているものの見方や考え方について自分の考えを持ち、伝えたい事柄について根拠を明確にして書くというような「書く能力」に強みがあります。平均正答率は昨年よりも伸びてはいますが、県平均なみで全国よりはやや下回っています。課題としては、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（言語についての知識・理解・技能）が挙げられます。

② 数学科について

頑張った成果がありました。習熟度別少人数指導の成果が大きいのと思われます。課題であった記述式の正答率も改善され、無解答率も減りました。ただ、関数分野の活用問題の正答率が低いため、全学年でこの分野の活用問題を昨年以上に取り組み、実力テストの前などに復習を入れて強化を図るつもりです。また、数と式の問題も全国・県平均を下回る問題がありましたので、毎日の小テスト等でトレーニングをしていこうと考えています。

③ 英語科について

英語の情報を正確に聞き取り、理解する力や読み、書くことは県・全国を上回りましたが、今年度初めて実施された「話すこと」については、聞いて把握した内容について、即座に応答し会話を続けるような問題に課題が見られました。コミュニケーション能力を高めるような普段からのスピーキングの実践が必要であると考えています。

(2) 質問紙調査の結果から

① 主に生活習慣等に関わる部分

基本的な生活習慣は良好であり、規範意識も大変高い傾向にあります。仲間と協力して物事をうまく進めていこうという意識はありますが、将来の夢や自尊感情、チャレンジ精神などの自分自身に対する向上の意欲が少し弱い傾向にあります。

② 主に学習内容に関わる部分

どの教科においても、まじめにコツコツと学習に向かう姿勢はあり、その必要性も十分理解できていますが、自分たちで課題を発見し、解決するような活動には至っていません。本年度、授業改善に力を入れているため、来年度以降に結果は出るものと期待しています。

(3) 全体を通して

生活習慣が安定し、生徒の仲間関係が良好であるため、自ずと学力は向上しつつあります。この状況を維持し、さらなる高みを目指していきたいと考えています。

(4) 家庭や地域へのお願い

食事、睡眠、挨拶、スマートフォンの使用方法、使用制限などを特に気にかけていただくようお願いします。学力向上にも生きる力の熟成にも大きく影響しているものです。